

愛知県立一宮南高等学校「総合的な探究の時間(1年)」を伝えるニュースーレター

## **BRIDGE**





## 重

要なことは、疑問を止めないことである 探究心は、それ自身に存在の意味を持っている。



2022年5月25日・6月2日(木)問いを立てる

## 「考えよう。そして、自分に問いかけ、また考えよう!!」

探究学習の大きな山場となる"問いを立てる"を2週にわたり実施しました。まず1週目では、(株)マイナビのlocusプログラムを使いました。6 Qsという地域が抱えている6 つの大きな問いを、生徒各々の興味関心のあるキーワードと掛け合わせて、より具体的な問いを作成しました。教員も生徒のグループの中で一緒に活動し



ました。まだまだ、自分の興味関心のキーワードやテーマ設定が曖昧で抽象的な生徒も多く、 問いの設定に苦戦していたようでした。

そこで、生徒のテーマ設定をより具体化するために、2週目は、問いの種類と問いの立て方を学びました。問いの種類には、探究の問い(=リサーチクエスチョン)と調べ学習の問い(=ファクトクエスチョン)があります。探究の問いを導くために、まず、調べ学習の問いを立てることから始めました。生徒各々が、マンダラートで導いた興味関心のあるキーワードに5W1Hをぶつけ、自分の興味関心をより深く考えました。そして、その活動を繰り返しながら、探究の問いを導くことができました。



## 6Qsとは

未来の教養教育研究所(発起人:大阪大学の佐藤浩章教授他6名)が提起した、現在、社会全体において重要な課題となっている大きな「問いのテーマ」。

【参考】https://www.edu-liberal.art/6qs

